

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券
設定日	2010年9月1日
信託期間	2010年9月1日から2020年1月24日（当初、2020年9月15日）までです。
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、本邦通貨建ての公社債および短期金融商品等に実質的に投資を行い、利息等収入の確保を図ります。
主要運用対象	グローバル・ハイイールド債券ファンド（マネープールファンド） ・ キャッシュ・マネジメント・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 キャッシュ・マネジメント・マザーファンド ・ 本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
投資制限	グローバル・ハイイールド債券ファンド（マネープールファンド） ・ 株式への実質投資は行いません。 ・ 外貨建資産への実質投資は行いません。 キャッシュ・マネジメント・マザーファンド ・ 株式への投資は行いません。 ・ 外貨建資産への投資は行いません。 ・ デリバティブ取引（有価証券先物取引等、スワップ取引、金利先渡取引をいいます。）の利用はヘッジ目的に限定しません。
分配方針	毎年6月、12月の15日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 * 分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ  
フリーダイヤル 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

# 運用報告書（全体版） 繰上償還

第20期

償還日 2020年1月24日

## グローバル・ハイイールド債券ファンド （マネープールファンド）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

このたび「グローバル・ハイイールド債券ファンド（マネープールファンド）」は、信託約款の規定に基づき、2020年1月24日をもちまして繰上償還いたしました。

ここに、設定以来の運用状況と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1

<https://www.smd-am.co.jp>

# グローバル・ハイイールド債券ファンド（マネープールファンド）

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		公社債組入比率	純資産総額
		税配	騰落率		
(設定日) 2010年9月1日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 1
第1期 (2010年12月15日)	10,001	0	0.0	220.9	1
第2期 (2011年6月15日)	10,013	0	0.1	70.5	1
第3期 (2011年12月15日)	10,015	0	0.0	77.4	38
第4期 (2012年6月15日)	10,017	0	0.0	91.0	38
第5期 (2012年12月17日)	10,019	0	0.0	86.8	38
第6期 (2013年6月17日)	10,022	0	0.0	60.4	38
第7期 (2013年12月16日)	10,023	0	0.0	79.3	40
第8期 (2014年6月16日)	10,023	0	0.0	76.6	38
第9期 (2014年12月15日)	10,024	0	0.0	73.6	38
第10期 (2015年6月15日)	10,024	0	0.0	73.1	38
第11期 (2015年12月15日)	10,023	0	△0.0	68.4	38
第12期 (2016年6月15日)	10,025	0	0.0	88.1	38
第13期 (2016年12月15日)	10,022	0	△0.0	76.9	38
第14期 (2017年6月15日)	10,017	0	△0.0	70.7	38
第15期 (2017年12月15日)	10,015	0	△0.0	84.8	38
第16期 (2018年6月15日)	10,012	0	△0.0	66.3	38
第17期 (2018年12月17日)	10,011	0	△0.0	74.6	38
第18期 (2019年6月17日)	10,007	0	△0.0	72.7	38
第19期 (2019年12月16日)	10,002	0	△0.0	66.0	38
(償還日) 第20期 (2020年1月24日)	(償還価額) 10,001.33円		△0.0	—	38

\*当ファンドは、安定した収益の確保を図ることを目的とした運用を行っているため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

\*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

## 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額	標準価額		公社債組入比率
		騰落率	騰落率	
(期首) 2019年12月16日	円 10,002	% —	% —	% 66.0
12月末	10,002	0.0	0.0	57.5
(償還日) 2020年1月24日	(償還価額) 10,001.33円		△0.0	—

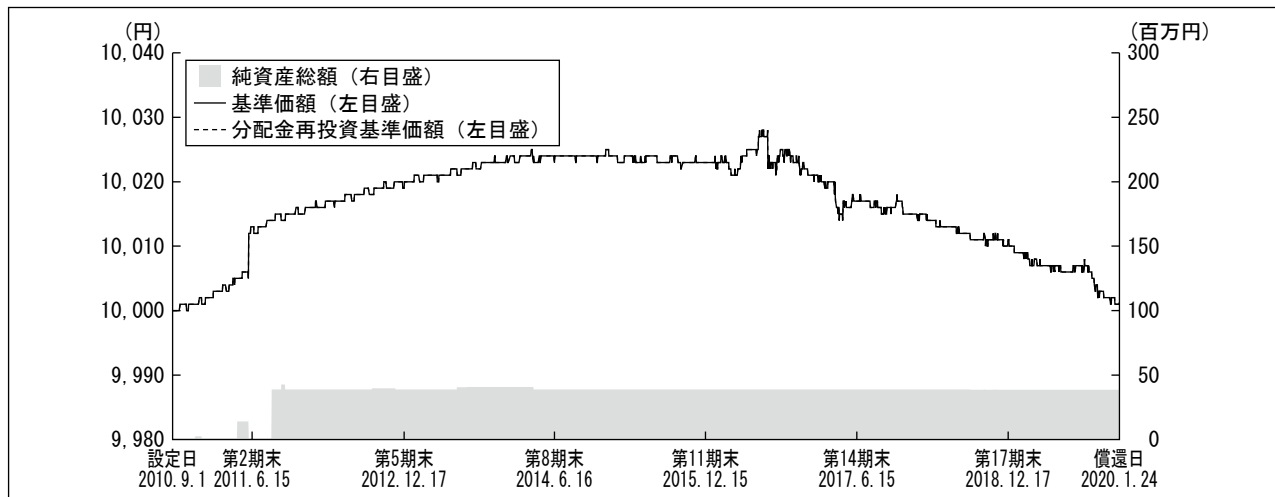
\*騰落率は期首比です。

\*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

# グローバル・ハイイールド債券ファンド（マネープールファンド）

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】



\* 設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

\* 当ファンドは、安定した収益の確保を図ることを目的とした運用を行っているため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

設定日：10,000円

償還日：10,001円33銭（既払分配金 0円）

騰落率：+0.0%（分配金再投資ベース）

### 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、キャッシュ・マネジメント・マザーファンドへの投資を通じて、本邦通貨建ての公社債および短期金融商品等を実質的に投資を行いました。

（上昇要因）

保有国債のキャリーによる収益を確保したことが要因となりました。

（下落要因）

日本銀行のマイナス金利政策導入を背景とした無担保コールレートのマイナス化などが要因となりました。

# グローバル・ハイイールド債券ファンド（マネープールファンド）

## 【投資環境】

国内短期金融市場では、設定当初+0.11%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りはプラス圏で推移した後、2016年1月末の日本銀行の「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」導入を受けて大きく低下しました。その後もマイナス圏での動きに終始し-0.12%付近で償還日を迎えました。

## 【ポートフォリオ】

### ■グローバル・ハイイールド債券ファンド（マネープールファンド）

主要投資対象であるキャッシュ・マネジメント・マザーファンドを運用期間を通じて組み入れました、その後、2020年1月の償還に向けてマザーファンドを売却し、2020年1月24日に繰上償還いたしました。

### ■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債中心による運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

## 【ベンチマークとの差異】

当ファンドは、安定した収益の確保を図ることを目的とした運用を行っているため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 【分配金】

分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、信託期間中の分配を見送りとさせていただきます。

## 1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2019年12月17日～2020年1月24日		
	金額	比率	
信託報酬	－円	－%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,002円です。
（投信会社）	（－）	（－）	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	（－）	（－）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（－）	（－）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
合計	－	－	

\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 円未満は四捨五入しています。

## 参考情報 総経費率（年率換算）

当期中の運用・管理にかかった費用はありません。

# グローバル・ハイイールド債券ファンド（マネープールファンド）

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

（2019年12月17日から2020年1月24日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 38,099	千円 38,716

## 利害関係人との取引状況等

（2019年12月17日から2020年1月24日まで）

### ■利害関係人との取引状況

<グローバル・ハイイールド債券ファンド（マネープールファンド）>

当期における利害関係人との取引はありません。

<キャッシュ・マネジメント・マザーファンド>

区 分	当 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 598	百万円 100	% 16.7	百万円 —	百万円 —	% —

\*平均保有割合0.9%

\*平均保有割合とは親投資信託残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

## 自社による当ファンドの設定・解約状況

（2019年12月17日から2020年1月24日まで）

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	償還時残高(元本)	取引の理由
百万円 1	百万円 —	百万円 —	百万円 1	当初設定時における取得

## 組入資産の明細

2020年1月24日現在

償還日現在、有価証券等の組み入れはありません。

### ■親投資信託残高

	期首(前期末)	償 還 時	
	口 数	口 数	評 価 額
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	千口 38,099	千口 —	千円 —

# グローバル・ハイイールド債券ファンド（マネープールファンド）

## 投資信託財産の構成

2020年1月24日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	38,716	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	38,716	100.0

## 資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2020年1月24日) 現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	38,716,879円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	38,716,879
(B) 負 債	126
未 払 利 息	126
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	38,716,753
元 本	38,711,588
償 還 差 損 益 金	5,165
(D) 受 益 権 総 口 数	38,711,588口
1 万 口 当 り 償 還 価 額 (C/D)	10,001.33円

\*元本状況

期首元本額	38,711,588円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	0円

## 損益の状況

自2019年12月17日  
至2020年1月24日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 210円
支 払 利 息	△ 210
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 3,810
売 買 損 益	△ 3,810
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	△ 4,020
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△46,002
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	55,187
(配 当 等 相 当 額)	( 53,989)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 1,198)
(F) 計 (C+D+E)	5,165
償 還 差 損 益 金 (F)	5,165

\*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

# グローバル・ハイイールド債券ファンド（マネープールファンド）

## 投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2010年9月1日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年1月24日			資産総額	38,716,879円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	126円	
				純資産総額	38,716,753円	
受益権口数	1,000,000口	38,711,588口	37,711,588口	受益権口数	38,711,588口	
元本額	1,000,000円	38,711,588円	37,711,588円	1万口当り償還金	10,001.33円	

### ■毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当り分配金	
				金額	分配率
第1期	円 1,000,000	円 1,000,143	円 10,001	円 0	% 0.00
第2期	1,000,000	1,001,256	10,013	0	0.00
第3期	38,711,588	38,770,687	10,015	0	0.00
第4期	38,711,588	38,779,064	10,017	0	0.00
第5期	38,740,554	38,815,747	10,019	0	0.00
第6期	38,740,554	38,824,325	10,022	0	0.00
第7期	40,593,918	40,687,416	10,023	0	0.00
第8期	38,740,554	38,831,571	10,023	0	0.00
第9期	38,772,206	38,865,655	10,024	0	0.00
第10期	38,772,206	38,863,756	10,024	0	0.00
第11期	38,772,206	38,861,526	10,023	0	0.00
第12期	38,772,206	38,868,139	10,025	0	0.00
第13期	38,772,206	38,859,408	10,022	0	0.00
第14期	38,711,588	38,778,511	10,017	0	0.00
第15期	38,711,588	38,769,791	10,015	0	0.00
第16期	38,711,588	38,757,267	10,012	0	0.00
第17期	38,711,588	38,752,346	10,011	0	0.00
第18期	38,711,588	38,739,823	10,007	0	0.00
第19期	38,711,588	38,720,773	10,002	0	0.00

## 償還金のお知らせ

1 万 口 当 り 償 還 金 （ 税 込 み ）	10,001円33銭
---------------------------	------------

■償還金のお支払いについて

償還金のお支払いは償還日から起算して5営業日までに開始いたします。

■課税上のお取扱いについて

償還時の個別元本超過額について、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率で源泉徴収されます。

※法人の受益者の場合、税率が異なります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※課税上のお取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。



# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

## 運用報告書

決算日：2019年7月25日

(第13期：2018年7月26日～2019年7月25日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 株式への投資は行いません。</li><li>・ 外貨建資産への投資は行いません。</li><li>・ デリバティブ取引（有価証券先物取引等、スワップ取引、金利先渡取引をいいます。）の利用はヘッジ目的に限定しません。</li></ul>



三井住友DSアセットマネジメント

(旧：大和住銀投信投資顧問)  
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		公社債 組入比率	純資産額
		期騰	落中率		
第9期 (2015年7月27日)	円		%	%	百万円
	10,179		0.0	68.9	5,091
第10期 (2016年7月25日)	10,186		0.1	81.1	4,928
第11期 (2017年7月25日)	10,177		△0.1	58.8	3,841
第12期 (2018年7月25日)	10,172		△0.0	69.2	4,478
第13期 (2019年7月25日)	10,167		△0.0	72.9	3,760

\*当ファンドは、安定した収益の確保を図ることを目的とした運用を行っているため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準	価額		公社債 組入比率	債 率
		騰	落率		
(期首) 2018年7月25日	円		%		%
	10,172		—		69.2
7月末	10,172		0.0		55.0
8月末	10,171		△0.0		72.1
9月末	10,171		△0.0		71.7
10月末	10,172		0.0		72.9
11月末	10,170		△0.0		69.2
12月末	10,170		△0.0		69.8
2019年1月末	10,170		△0.0		67.5
2月末	10,169		△0.0		68.5
3月末	10,169		△0.0		64.4
4月末	10,168		△0.0		75.0
5月末	10,168		△0.0		65.9
6月末	10,167		△0.0		60.0
(期末) 2019年7月25日	10,167		△0.0		72.9

\*騰落率は期首比です。

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】

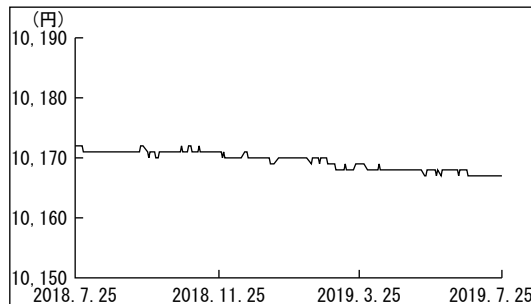
期首：10,172円  
期末：10,167円  
騰落率：△0.0%

### 【基準価額の主な変動要因】

(下落要因)

マイナス金利政策導入を背景とした無担保コールレートのマイナス化が下落要因となりました。

基準価額の推移



### 【投資環境】

国内短期金融市場では、期初-0.15%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、2018年9月末以降に海外投資家による短期の国債への需要の高まりを受けて-0.3%近辺まで低下しました。その後、期末にかけてマイナス幅を縮小し-0.13%近辺で期末を迎えました。

### 【ポートフォリオ】

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

## 今後の運用方針

日本銀行は2018年7月の金融政策決定会合において、現行の金融緩和政策を粘り強く続けていくため政策金利のフォワードガイダンスを導入しました。したがって当分の間、市場利回りは低い水準での推移が見込まれます。引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。日本銀行による金融緩和政策が続くため、短期金利の上昇リスクは限定的と予想します。ファンドの平均残存年限については2~4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

## 1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2018年7月26日～2019年7月25日		
	金額	比率	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.002% (0.002)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	0	0.002	
期中の平均基準価額は10,170円です。			

\*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\*円未満は四捨五入しています。

## 売買及び取引の状況

(2018年7月26日から2019年7月25日まで)

### ■公社債

		買	付	額	売	付	額
国	内			千円			千円
		地方債証券		160,936			( 400,000)
		特殊債証券		3,221,655			(3,512,000)
		社債証券		1,008,280			( 800,000)

\*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

\*（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

\*社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれていません。

## 主要な売買銘柄

(2018年7月26日から2019年7月25日まで)

### ■公社債

		当期					
		買		売			
銘	柄	金	額	銘	柄	金	額
			千円				千円
30	政保日本政策		390,717		—		—
85	政保道路機構		324,627				
2	政保地方公共団		302,403				
18	政保政策投資C		300,426				
107	政保道路機構		210,398				
82	政保道路機構		201,646				
91	政保道路機構		180,666				
100	政保道路機構		159,004				
93	政保道路機構		148,339				
7	政保原賠・廃炉		120,064				

\*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

利害関係人との取引状況等

(2018年7月26日から2019年7月25日まで)

■利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 4,390	百万円 390	% 8.9	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

組入資産の明細

2019年7月25日現在

■公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当		期		末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
地 方 債 証 券	千円 60,000 ( 60,000)	千円 60,135 ( 60,135)	% 1.6 ( 1.6)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 1.6 ( 1.6)
特 殊 債 券 (除く金融債券)	1,772,000 (1,772,000)	1,780,139 (1,780,139)	47.3 (47.3)	— (—)	— (—)	— (—)	47.3 (47.3)
普 通 社 債 券	900,000 ( 900,000)	902,092 ( 902,092)	24.0 (24.0)	— (—)	— (—)	— (—)	24.0 (24.0)
合 計	2,732,000 (2,732,000)	2,742,367 (2,742,367)	72.9 (72.9)	— (—)	— (—)	— (—)	72.9 (72.9)

\* ( )内は、非上場債で内書き

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

## B 個別銘柄開示

### 国内（邦貨建）公社債

銘柄	柄	当期			末
		利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
(地方債証券)					
167	神奈川県公債	1.5200	60,000	60,135	2019/09/20
	小計	—	60,000	60,135	—
(特殊債券（除く金融債券）)					
20	政保西日本道	1.4000	110,000	110,017	2019/07/29
85	政保道路機構	1.4000	320,000	320,082	2019/07/31
56	日本政策金融	0.0010	60,000	59,994	2019/09/20
91	政保道路機構	1.2000	180,000	180,623	2019/10/31
93	政保道路機構	1.4000	147,000	147,758	2019/11/29
100	政保道路機構	1.4000	157,000	158,421	2020/02/28
10	政保地方公共団	1.3000	100,000	100,905	2020/03/13
30	政保日本政策	0.1940	390,000	390,663	2020/03/18
104	政保道路機構	1.4000	100,000	101,165	2020/04/30
107	政保道路機構	1.3000	208,000	210,508	2020/05/29
	小計	—	1,772,000	1,780,139	—
(普通社債券)					
2	大日本印刷	1.7050	100,000	100,024	2019/07/30
44	名古屋鉄道	2.0500	100,000	100,044	2019/08/02
164	オリックス	1.1460	100,000	100,037	2019/08/07
110	三菱地所	0.5710	100,000	100,068	2019/09/13
295	北陸電力	1.4340	100,000	100,226	2019/09/25
69	東京急行電鉄	1.7000	100,000	100,405	2019/10/25
9	長谷工コーポ	0.4400	100,000	100,089	2019/11/05
22	ホンダファイナンス	0.5610	100,000	100,188	2019/12/20
316	北海道電力	1.1640	100,000	101,007	2020/06/25
	小計	—	900,000	902,092	—
	合計	—	2,732,000	2,742,367	—

## 投資信託財産の構成

2019年7月25日現在

項目	当期		末
	評価額	比率	率
	千円		%
公社債	2,742,367		61.1
コーポレートローン等、その他	1,746,355		38.9
投資信託財産総額	4,488,722		100.0

# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年7月25日) 現在

項	目	当	期	末
(A) 資	産	4,488,722,927	円	
	コ	1,738,972,148	円	
	公	2,742,367,466	円	
	未	7,017,769	円	
	前	365,544	円	
(B) 負	債	728,229,259	円	
	未	702,234,840	円	
	未	25,990,132	円	
	そ	4,287	円	
(C) 純	資	3,760,493,668	円	
	元	3,698,685,821	円	
	次	61,807,847	円	
(D) 受	益	3,698,685,821	円	
	1	10,167	円	

### \*元本状況

期首元本額	4,402,772,876円
期中追加設定元本額	3,761,630,971円
期中一部解約元本額	4,465,718,026円

### \*元本の内訳

SMBCファンドラップ・G-R-E-I-T	75,860,424円
SMBCファンドラップ・ヘッジファンド	264,777,152円
SMBCファンドラップ・欧州株	98,347,064円
SMBCファンドラップ・新興国株	62,570,083円
SMBCファンドラップ・コモディティ	25,093,959円
SMBCファンドラップ・米国債	131,864,661円
SMBCファンドラップ・欧州債	67,072,799円
SMBCファンドラップ・新興国債	57,786,537円
SMBCファンドラップ・日本グロース株	165,261,504円
SMBCファンドラップ・日本中小型株	37,592,457円
SMBCファンドラップ・日本債	933,410,815円
DC日本国債プラス	611,843,859円
エマーゼィング・ボンド・ファンド・円コース (毎月分配型)	47,764,473円
エマーゼィング・ボンド・ファンド・豪ドルコース (毎月分配型)	172,999,503円
エマーゼィング・ボンド・ファンド・ニュージーランドドルコース (毎月分配型)	8,431,979円
エマーゼィング・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース (毎月分配型)	279,049,541円
エマーゼィング・ボンド・ファンド・南アフリカランドコース (毎月分配型)	6,899,968円
エマーゼィング・ボンド・ファンド・トルコリラコース (毎月分配型)	57,039,919円
エマーゼィング・ボンド・ファンド (マネー・プールファンド)	297,317,957円
大和住銀 中国株式ファンド (マネー・ポートフォリオ)	97,887,844円
エマーゼィング好配当株オープン マネー・ポートフォリオ	3,274,103円
エマーゼィング・ボンド・ファンド・中国元コース (毎月分配型)	1,580,276円
グローバル・ハイイールド債券ファンド (円コース)	783,500円
グローバル・ハイイールド債券ファンド (中国・インド・インドネシア通貨コース)	611,491円
グローバル・ハイイールド債券ファンド (BRICS通貨コース)	750,900円
グローバル・ハイイールド債券ファンド (世界6地域通貨コース)	4,149,898円
米国短期社債戦略ファンド2015-12 (為替ヘッジあり)	245,556円
米国短期社債戦略ファンド2015-12 (為替ヘッジなし)	245,556円
グローバル・ハイイールド債券ファンド (マネー・プールファンド)	38,099,748円

アジア・ハイ・インカム・ファンド・アジア3通貨コース	24,909,114円
アジア・ハイ・インカム・ファンド・円コース	1,725,154円
アジア・ハイ・インカム・ファンド (マネー・プールファンド)	1,001,730円
日本株厳選ファンド・円コース	270,889円
日本株厳選ファンド・ブラジルリアルコース	18,658,181円
日本株厳選ファンド・豪ドルコース	679,887円
日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース	9,783円
株式&通貨 資源ダブルフォーカス (毎月分配型)	4,007,475円
日本株225・米ドルコース	49,237円
日本株225・ブラジルリアルコース	393,895円
日本株225・豪ドルコース	147,711円
日本株225・資源3通貨コース	49,237円
グローバルCBオープン・高金利通貨コース	598,533円
グローバルCBオープン・円コース	827,757円
グローバルCBオープン (マネー・プールファンド)	2,008,646円
オーストラリア高配当株プレミアム (毎月分配型)	1,057,457円
スマート・ストラテジー・ファンド (毎月決算型)	12,541,181円
スマート・ストラテジー・ファンド (年2回決算型)	4,566,053円
ボンド・アンド・カレンシー トータルリターン・ファンド (毎月決算型)	14,309円
ボンド・アンド・カレンシー トータルリターン・ファンド (年2回決算型)	12,837円
カナダ高配当株ツインα (毎月分配型)	66,417,109円
日本株厳選ファンド・米ドルコース	196,696円
日本株厳選ファンド・メキシコペソコース	196,696円
日本株厳選ファンド・トルコリラコース	196,696円
エマーゼィング・ボンド・ファンド・カナダドルコース (毎月分配型)	406,607円
エマーゼィング・ボンド・ファンド・メキシコペソコース (毎月分配型)	2,992,324円
カナダ高配当株ファンド	984円
米国短期社債戦略ファンド2015-10 (為替ヘッジあり)	149,304円
米国短期社債戦略ファンド2015-10 (為替ヘッジなし)	215,194円
米国短期社債戦略ファンド2017-03 (為替ヘッジあり)	1,751,754円
世界リアルアセット・バランス (毎月決算型)	1,451,601円
世界リアルアセット・バランス (資産成長型)	2,567,864円

損益の状況

自2018年7月26日  
至2019年7月25日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	32,576,263円
受取利息	33,652,029
支払利息	△ 1,075,766
(B) 有価証券売買損益	△34,480,579
売却益	157,532
売却損	△34,638,111
(C) その他の費用	△ 95,773
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,000,089
(E) 前期繰越損益金	75,757,721
(F) 解約差損益金	△75,738,873
(G) 追加信託差損益金	63,789,088
(H) 計(D+E+F+G)	61,807,847
次期繰越損益金(H)	61,807,847

\*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\*解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

\*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

お知らせ

信用リスク集中回避のための投資制限に関する所要の約款変更を行いました。(2018年9月6日付)

委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。(2019年4月1日付)

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。